

## 第5学年 ○○タイム学習指導案

令和2年10月2日（金）第5校時

### 1 単元名 地域と自分～○○防災団～（第5学年 47時間）

### 2 単元の目標

地域での災害や防災について考え、命や町を守る方法を考えることを課題に、繰り返し地域と関わる活動を通して、災害に対する考えや命や町を守るための防災の取組や工夫や努力、人々の思いに気づき、「みんなのために命や町を守る（全ての人が互いに助け合うことができる地域）」について考えるとともに、「自分にできることは何か」の視点をもって、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。

### 3 児童の実態と教師の願い

本学級の児童は、生活科や社会科、総合的な学習の時間において、町を教材として学んできた経験がある。地域の人にインタビューしたり、自分でアイマスクをして町を歩いてみたりして、気持ちを予想するなど、実践意欲も高い。また、収集した情報を絵や図、思考ツールなどを用いて伝えることもできる。しかし、自分の考えに固執してしまう児童や一部の主張に流されてしまい、考えを表現することに消極的な児童も見られる。また、話し合い活動は、一部の意見でまとまってしまうたり、明確な理由を追求せず、不確定な要素で決めてしまったりする場面も見られる。今回、総合的な学習の時間を進めるにあたり、アンケートを取ると、多くの児童が「昨年度の台風の地域の被害」についての関心が高いことが分かった。昨年度の台風で実際に小学校に避難をした児童もあり、災害時にどのような行動をとるべきか知りたいという意見が多かった。

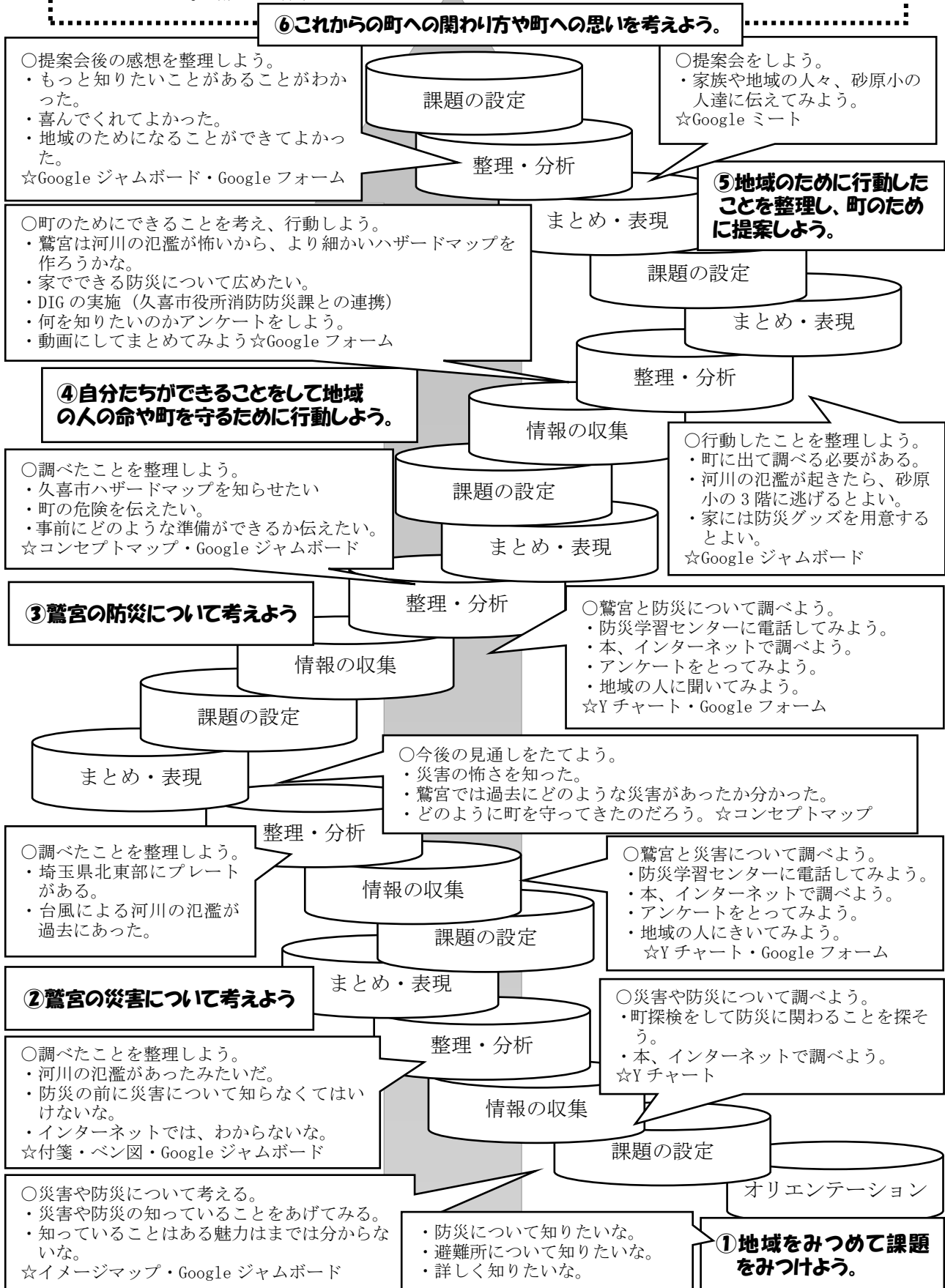
そこで、児童の防災について知りたいという思いを生かして課題を設定し、地域と防災について活動をしていくことにした。また、児童が主体的に話し合い、協力しながら課題を解決していくことで、地域への親しみや愛着を深めることができると考えた。地域に関わる災害や防災について調べる中で、知らず知らずのうちに関わる人々の存在や思いなどに気づき、地域のよさを知り、自分たちの住む町に誇りをもてるようにしたい。また、児童同士で解決する方法を探しあい、地域へのよりよい提案を作り上げるために協働的な活動を取り入れることで、継続して地域と関わり、学び合いながら、自己の考えを広げ、地域のためにできることを考え、社会に参画していこうとする児童を育てたい。

### 4 教材について

鷲宮神社の門前町として栄え、現在も神社前には商店街が並び、町の人たちの集う場所となっている。町中には青毛堀川や葛西用水路などが流れ、近くには利根川も流れている。また、田んぼやぶどう園、なし園なども多くあり、自然豊かな場所である。しかし、川の決壊の可能性や大雨が降ると道路が冠水することも多い。令和元年東日本台風では避難勧告が発令されるなど、水害について注意が必要である。町中には1947年のカスリーン台風の甚大な浸水被害を伝えるものとして、電柱に赤いテープが貼られていたり、本校のPTA活動である親児の会の人々が防災イベントを実施したりするなど、防災に対して意識が高い面も見られる。

5 単元で予想される児童学習の流れ（探究的な活動として6つの段階を設定し、変容を追う）

地域の災害や防災について考え、地域の人々の思いや願いに触れ、地域に対して愛着や誇りを持ち、みんなのために命や町を守ることや自分たちができていることを考えて行動することができる。（概念形成）



## 6 研究主題との関連

### 【研究主題】

自ら学びに向かう力を高め、探究力を育む学習活動  
～「探究活動」・「学びの個別化・協同化」・「ICTの活用」等を通して～

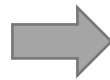
### 【目指す児童像】

学習に対して主体的に取り組む姿勢をもち、友だちや家族、地域と関わり、自分に必要な知識・技能を活用し、自己の生き方を考え、何事にもやりぬくことができる児童

本校では、探究学習を、「児童テーマに基づき自由に課題を設定し、知識・技能を基にして課題に向かって試行錯誤を重ね、情報を収集し、友だちや教師、地域の方々と協働したり、ICTを活用したりして、最後まで課題をやりぬき、解決に向かうための力を育てる活動」と定義した。全ての教科で探究学習を取り入れた学習を進めていくことにより、「夢実現に向け、やりぬき、自由に生きるための力」と定義した力である「探究力」が身に付くと考えた。そこで、本主題に迫るため、以下の仮説と方策を設定した。

### 【仮説】

総合的な学習の時間での活動を軸として、教科横断的な学習を推進していけば、児童の探究力が高まり、主体的に学習に取り組み、学ぶ意欲の向上につながるのではないか。



### 【具体的な方策】

- ①総合的な学習の時間での探究学習
- ②テーマに基づいた課題設定の自由化
- ③個別化・協同化における、自己決定の場の設定
- ④教科横断的な視点を活用しての、情報の収集や整理分析の時間の充実

## 7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域の防災に関わる人々の想いを理解している。</li> <li>② 課題を追求していく中で防災に関わる人々の想いについて自分なりの概念を構築している。</li> <li>③ 地域の防災について町探検の計画作りやフォームの活用、インタビューなどを通して収集した情報を図や文章でまとめる方法が分かっている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域の防災について、課題をつくり、解決に向けて自分にできることを考えている。</li> <li>② 地域の防災の特色を知るために相手の想いを汲み取り、必要な情報を収集している。</li> <li>③ 調べたことを比較したり分類したりして特徴を見つけ、整理・分析している。</li> <li>④ 身近な人や地域の人々に、自分が考える地域の防災についての考えをまとめ、伝えるように工夫している。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 活動を通して地域への愛着や関わりを意識して、地域の今後の自分の生活に生かそうとしている。</li> <li>② 友だちや地域の人々と協働的な学習を通して、多くの考えを生かしながら、防災について調べたり、まとめたりしようとしている。</li> <li>③ 友だちや地域の防災に関わる人々と積極的に関わりをもちながら粘り強く地域の防災の特色を調べようとしている。</li> </ol>

8 単元の指導計画と評価計画 (47時間扱い) ※7月~3月

※「課題」：課題の設定 「情報」：情報の収集 「整理」：整理・分析 「表現」：まとめ・表現

探究過程	○学習活動・予想される児童の意識や姿(時間)	○指導上の留意点 ☆探究活動用ツール □評価
課題	<p><b>①地域をみつめて課題をみつけよう</b></p> <p>○オリエンテーション(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生と3年生で鷺宮のことを調べたことがある。</li> <li>・調べて何をしようかな。</li> </ul> <p>○地域のことで興味があることについて話し合おう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の台風が大変だった。・地域の防災のこと何も知らない。</li> <li>・地域の人に避難の仕方を伝えてみたいな。</li> <li>・地域の災害って何だろう。</li> </ul>	<p>○自分達で進めていく内容を決めて活動する時間であることを伝える。</p> <p>○既習事項を基にして、地域のことで知っていることをイメージマップで広げていく。</p> <p>○振り返りフォームに防災に関する考えを書かせ、単元を通してどのように変化するか振り返る材料にさせる。</p> <p>○地域の人の為に行う学習であることを意識させる。</p> <p>☆イメージマップ、Google ジャムボード</p> <p>□思判表① 態③(話し合いの様子・ワークシート)</p>
情報	<p>○災害や防災について知っていることが正しいのか、調べてみよう(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害や防災について話し合う。</li> <li>・自分たちが知っていることを話し合おう。</li> <li>・インターネットや本で調べてみよう。</li> <li>・青毛堀川の氾濫があるかもしれない。</li> </ul>	<p>○本単元は、課題を見出す学習であることを意識する。</p> <p>○インターネットや文献を利用して調べ学習を行う。</p> <p>○Google ジャムボードを活用して知っていることを書き足させていく。</p> <p>○調査結果から分かったことを Google ジャムボードにまとめていき、思考の可視化をする。</p>
整理	<p>○インターネットや本で調べたことを話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが知っていることと、調べたことは変わらない。</li> <li>・あることは分かるけど、どんなものなのかわからない。</li> <li>・町のことはよくわからなかった。</li> <li>・町に出て調べる必要があるね。</li> <li>・町探検して、危険なところを調べよう。</li> </ul>	<p>情報の共有のため、Google クラスルームを活用し、1つのジャムボードに情報を蓄積できるように工夫する。</p> <p>☆Yチャート、囲み、Google ジャムボード</p> <p>□態③(発言、行動、ワークシート)</p>
情報	<p>○町の災害や防災について探検をして調べよう(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家もたくさんあるだろう。</li> <li>・川の周りは危ないだろう。</li> </ul>	<p>○町探検に行く際には、安全に留意する。</p> <p>○事前に自分が知っていることをまとめたワークシートに、新たに見つけたことを書き足していくことにより、知っていた知識と新たに見つけたものを区別させる。</p> <p>○見つけたことを Google ジャムボードに書き表し、全体で共有しながら、まとめていく。</p> <p>☆イメージマップ、Yチャート、Google ジャムボード</p> <p>□思判表①・知技③(発言、ワークシート)</p>
整理	<p>○町探検で気付いたことを話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家が結構密集していたよ。</li> <li>・田んぼや川の周りは危ないと思った。</li> <li>・まだまだ調べ足りないよ。</li> <li>・どんなものが災害なのか分からないと、防災をみつけられないな。</li> </ul>	<p>思考・判断・表現①では、「地域の防災について、課題をつくり、解決に向けて自分にできることを考えている。」となっている姿を、「友だちの意見を受け入れながら、課題を設定しようとしている」という具体的な姿にとらえなおして評価する。</p>
	<p>P284 指導計画作成の留意事項(2)</p>	
課題	<p><b>②鷺宮の災害について考えよう</b></p> <p>○災害って何なのか考えよう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災や地震、河川の氾濫などがあるよ。</li> <li>・どうして火災が起こるのか調べたいな。</li> </ul>	<p>○知っている災害をださせ、グループごとに、それぞれの災害についての調べ学習を行わせる。</p> <p>○グループに分かれ、それぞれのなかでも、個別に課題を考えさせ、1人1人が違う課題に向かって探究活動を行えるようにさせる。</p>
情報	<p>○鷺宮と災害について調べよう。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鷺宮では火災が数件起こっているね。</li> <li>・鷺宮は利根川や青毛堀川の氾濫の危険性があるね。</li> <li>・ライフラインが止まると大変なことになるよ。</li> </ul>	<p>情報の共有のため、調べたことは、Google ジャムボードに書きだし、グループ内で情報を蓄積できるようにする。</p>
整理	<p>○グループごとに、鷺宮と災害について調べた情報を整理しよう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鷺宮にも毎年、様々な災害が起きているね。</li> </ul>	<p>☆ベン図、Yチャート、ピラミッドチャート、Google ジャムボード、Google フォーム、</p>
表現	<p>○整理したことをまとめ、友だちと交流し、災害について考えを深める。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなに起きているのだから、防ぐ方法も考えなくてはいけな。</li> <li>・昨年の避難指示で避難した人の声が大切だね。</li> </ul>	<p>P284 指導計画作成の留意事項(3)</p>



情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の氾濫が起きる前にどういう行動をすればよいのか、まとめてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知っているのか、確認させるため、アンケートを作らせ、比較させる機会を設ける。</li> </ul>
表現	<p><b>○行動する方法をどうするのか調べよう。(3)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで演技をして表現する。</li> <li>・CMのように要点をまとめてみたい。</li> <li>・川口のスキップシティというところで、動画づくりをしているみたいだよ。</li> <li>・事前に必要なグッズを集めてみるのもいいかもしれないね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アンケートは分かりやすいものとする。数値で集計が容易にできるものの方がよい。</li> <li>○自分たちで動画作成を進めていくために、教えてくれる講師もインターネットなどから自分で探させる。</li> <li>○スキップシティから教材を取り寄せ、子ども達が作成しやすい環境を整える。</li> </ul>
整理	<p><b>○町のためにできることを考え、行動しよう(5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・驚宮は河川の氾濫が怖いから、より細かいハザードマップ作る。</li> <li>・家でできる防災について模造紙でまとめよう。</li> <li>・何を知りたいのかアンケートをして、相手意識をもって活動したい。</li> <li>・動画にして、防災の知識をまとめてみよう</li> </ul>	<p><b>○地域の人の意見を集約することで、町の人が求めている情報と自分たちの調べた情報の共通点や相違点に気付かせる。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>情報の集約をスムーズに行うために、Google クラブルームを活用して、アンケートをグループ内で共有する。</p> </div>
表現	<p><b>○児童同士で互いに見合い、効果的に伝えているかアドバイスし合おう。(1)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の青毛堀川をアップで写した方がよいよ。</li> <li>・何を伝えたいのかよく伝わらないな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Google ジャムボードに自分が考える大切なことを書かせる。</li> <li>○互いに見合うことにより、客観的に相手の良い点や悪い点を捉えることができるため、互いに見合い話し合わせる。</li> </ul>
整理	<p><b>○互いのアドバイスを基に作り直そう。(2)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この角度から動画を撮ろう。</li> <li>・防災グッズを使用している姿を撮影しようかな。</li> <li>・みんなのまとめたものを、サイトを作ってアップするのもよいかもかもしれないね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の振り返りシートを活用して、学習を振り返り、伝えたいことは何か、そしてどのように伝えればよいか学んだことをもとにまとめていく。</li> <li>○提案を作ることが目的でなく、命と地域を守るためにできることを伝えることが目的であると認識させる。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>児童の概念形成が図れるように、振り返りで「地域の命や町を守るとは」について考えるように、意図的・計画的に児童同士の協働の場を設定する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>思判表③では、「地域の防災の特色を知るために相手の想いを汲み取り、必要な情報を収集している」となっている姿を、「地域の声アンケートやインタビューで聞きとり、自分の考えや分かったことを振り返りに書いている。」という具体的な姿にとらえなおして評価する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○提案案を作ることが目的でなく、命と地域を守るためにできることを伝えることが目的であると認識させる。</li> <li>○伝えたい内容を考え、どのように伝えれば効果的に魅力が伝わるか、付箋とクラゲチャートを用いて考える。</li> <li>○ゲストに動画の撮影をお願いする場合はきちんと事前にお問い合わせの電話をさせる。</li> <li>☆クラゲチャート、付箋法、Google クラブルーム、zoom オンラインチャート、ステップチャート、ピラミッドチャート、コンセプトマップ、Google フォーム</li> <li>□思判表②知技②(話し合いの様子、発言、ワークシート)</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>知技②では、「課題を追求していく中で防災に関わる人々の想いについて自分なりの概念を構築している。」となっている姿を、「調べてきて自分が大切だと思うことを振り返りに書き、自分の考えをまとめる」という具体的な姿にとらえなおして評価する。</p> </div>
課題	<p><b>⑤地域のために行動したことを整理し、町のために提案しよう</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の意見だけでは、客観的に見切れない部分もあるため、第三者であり、地域の住民である保護者からのアドバイスをもらうことにより、より良い提案づくりにつなげる。</li> </ul>
整理	<p><b>○保護者の方への報告会を行おう。(1)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ防災への必要性が伝わるけれど、具体的に数値を挙げるとより分かりやすいかな。</li> <li>・もっと分かりやすい、動画を作らなくては。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者の方のアドバイスをイメージマップで課題を見つけていく。</li> <li>○見つけた課題を座標軸で分類していく。</li> </ul>
課題	<p><b>○保護者の方のアドバイスを整理して、よりよい提案づくりに生かそう。(1)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことを焦点化した方がいいね。</li> <li>・防災に携わる人の思いをもっと伝えたいね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どうしたら、地域への防災の思いが伝わるのか話し合い、情報を探させる。</li> <li>○数値も大切だが、人の思いや相手にどうなってほしいか気付かせることにより、災害や防災の知識をさらに深めていく。</li> </ul>
情報	<p><b>○提案の内容を再度考えよう(1)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵コンテを作成して、動画を作ろう。</li> <li>・説明は文章を表にして提示しよう。</li> </ul> <p><b>○提案するものを作成しよう。(3)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○互いに見合うことで、自分たちの動画がどう変化したか互いに評価させる。</li> <li>○児童には今まで協力してくださった地域の方々への感謝の気持ちを表現させる。</li> </ul>
整理	<p><b>○作成した提案を互いに見合い、地域への防災の思いを効果的に伝えているかアドバイスし合おう。(1)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの調べてみた感想を述べるのもどうかな。</li> <li>・これを見てくれた人にどうなってほしいのか一人一人がきちんと考えを述べるのもよいかもかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○視聴していただく方々には、率直な意見やアドバイスをしていただけるように事前にお問い合わせしておく。</li> <li>☆座標軸、イメージマップ、Google クラブルーム、Google ジャムボード、付箋</li> </ul>

<p>課題 表現 整理</p>	<p>○互いのアドバイスを基に、提案を完成させよう。(2) ○地域の方へ発表し、感謝を表現しよう。(1) ・地域の方々をお呼びして発表会を行い、気持ちを伝えたい。</p> <p>○参会していただいたゲストティーチャーや学校運営協議会の方々にアンケートをお願いし、評価をもらい、集計し、整理しよう。(1) ・良い評価があるけれど、ここを変化させたらもっとよさそうだね。 ・自分たちの作った提案をこれからどこかで残せないかな。</p> <p>児童の概念形成が図れるように、振り返りで「地域の命や町を守るとは」について考えるように、意図的・計画的に児童同士の協働の場を設定する。</p>	<p>□思判表④知技②（話し合いの様子、発言、ワークシート）</p> <p>思考・判断・表現④では、「身近な人や地域の人々に、自分が考える地域の防災についての考えをまとめ、伝えるように工夫している。」となっている姿を、「今までの振り返りでの自分の変容や調査して分かった情報をもとに、自分の思いや考えを工夫して提案書を作成している。」という具体的な姿にとらえなおして評価する。</p>
<p>表現</p>	<p>⑥これからの町への関わり方や町への思いを考えよう</p> <p>○これからの鷺宮への関わり方を考えよう。(1) ・単元をとおして学んだことってなんだろう。 ・私はこの鷺宮は守るべき町だと思います。 ・町の人に安心・安全に暮らしてほしい。 ・私たちのことを考えて行動してくれる人達のようにになりたい。</p> <p>学習をこれからの生活にどのように生かしていけるかを考えることができるように Google フォームや Google ジャムボード、掲示物や写真を使いながら振り返るよう工夫する。</p>	<p>○今後、自分たちができることはないか考えさせる ○自分の振り返りシートを活用して、学習を振り返り、第一回目、中間、最終の自分の考えの変容に気付かせる ○今後、学習が終わってからもどのように地域に関わっていくか考えさせる。 ☆Google ジャムボード、Google フォーム、付箋、ペン図</p> <p>□思判表④態①（話し合いの様子、発言、ワークシート）</p> <p>態度①では、「活動を通して地域への愛着や関わりを意識して、地域の今後の自分の生活に生かそうとしている。」となっている姿を、「これからの生活にどのように生かしていけるのかを振り返りに表現している。」という具体的な姿にとらえなおして評価する。</p>

- ◎これまでの他教科との関連
- ・ 2年生 生活科「まちをしらべよう」
  - ・ 3年生 社会科「私たちの地域」  
総合的な学習の時間「私達のふるさと鷺宮」
  - ・ 4年生 社会科「自然災害から人々を守る」「もっと知ろう埼玉県」  
総合的な学習の時間「私達の町の福祉」  
理科「自然の中の水」

- ◎本年度の他教科との関連
- ・ 理科「台風の接近」「雲と天気の変化」「流れる水のはたらき」「川と災害」
  - ・ 社会「国土の地形の特色」「自然災害を防ぐ」「私たちの生活と森林」
  - ・ 道徳「復興への願い」
  - ・ 特活「地震が起きた時の行動」「火災の予防をしっかりと」
  - ・ 国語「みんなが過ごしやすい町へ」「あなたはどうか考える」「新聞を読もう」
  - ・ 算数「帯グラフと円グラフ」

※吹き出しの説明

指導に関するポイントなどを示す。

評価に関するポイントなどを示す。

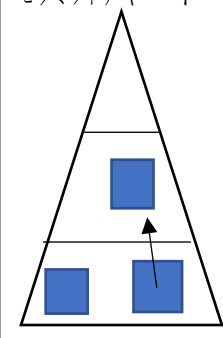
編成要領（H30.3月.県教委）に掲載してある「留意事項との関わりを示す」

9 本時の学習指導（本時 19 / 47 時）

(1) 目標

分野ごとにそれぞれ調べてきた情報の中から、何を伝えなくてはいけないのか、取捨選択し、焦点化をすることで今後の見通しをもつことができる。

(2) 展開

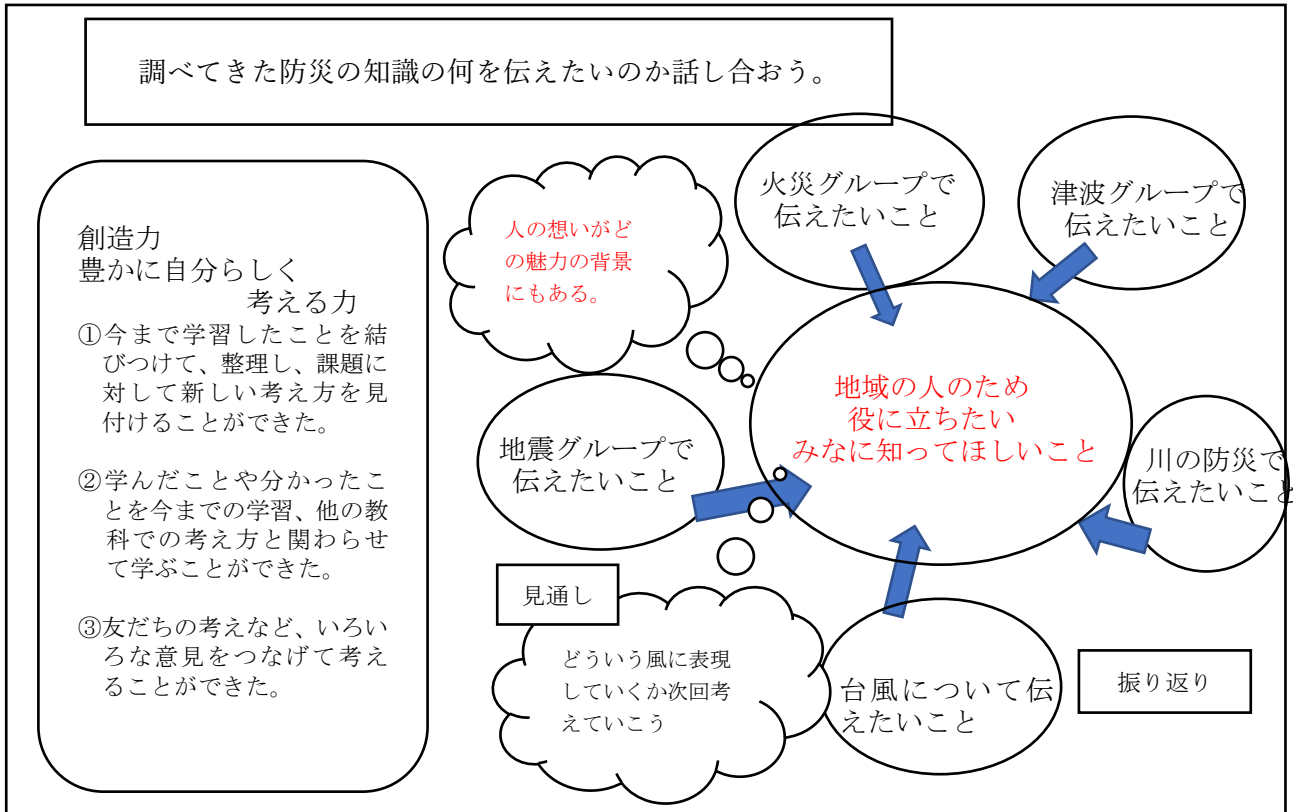
過程	学習活動	主な発問 (T) 予想される反応 (C) 指導上の留意点 (・) 仮説に迫るための手立て (※)	評価 (◎、○) 支援 (→)
つ か む ・ 見 通 す 5 分	<p>1 本時の活動のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>振り返りを一覧表にすることで、全児童の学びを捉えなおすことができる。また、Google フォームを活用することで、結果も円グラフなどに表示されるので、視覚的にクラスの考えがとらえやすくなる。</p> </div>	<p>T 前回、地域について今みんなが思う命と町を守るために大切なことを書いてみましたね。Google フォームでまとめたみんなの結果を見てください。</p> <p>※一人ひとりが思う防災で大切なことを Google フォームで集計し、クラス全体で共有して、協働的な学びにつながるように仕掛けをする。</p> <p>C 自分の考えと違うな。 C この考えと似ているな。</p> <p>T みんなの考えを知って、自分の考えと比べられたかな。今日は、調べてきたことの何を伝えたいのか考えていきたいと思います。</p> <p>・全員の考えを見える化し、他の人の考えを知り、自分との考えと比較し本時の課題につなげる。 ・ICTを活用し、今までの調べてきた内容や掲示物などを用いて具体的に確認するようにする。</p>	
<p>調べてきた防災の知識の何を伝えたいのか考えよう。</p>			
深 め る 30 分	<p>2 グループで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ピラミッドチャート</p>  <p>※<u>焦点化</u>する際に使用。</p> </div>	<p>T 自分が思う伝えたいことをグループで話し合いながら、Google ジャムボードの付箋に記入してそれぞれのグループで一番伝えたいことをまとめてください。</p> <p>・ワークプリントに伝えたいことを前時に書いておく。 ・掲示してある資料やタブレットに保存してある写真のデータ、調べた分野の問題点、知られていないことなど今までのメモや振り返りを利用して自分の考えの根拠を述べて付箋を貼らせる。 ・調べた分野のグループ毎に集まり、まとめていく。</p> <p>※Google ジャムボードに付箋を貼りつけ、グループで協働し、意見を焦点化していく。</p> <p>C 鷺宮は青毛堀川の氾濫が危険なので、そのことを伝えたいです。 C 鷺宮は、大雨が降った時に道路がよく冠水するのでそのことを伝えたいです。</p> <p>・話し合ううちに、新たな考えが出てきた場合は Google ジ</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>◎様々な資料の中から必要な情報を取捨選択し、伝えたいことを焦点化することができる。</p> <p>○自分の考えの根拠を伝えながら発表することができる。</p> <p>→伝えたいことの原因が言えない児童には、掲示してあることの中から探させる。</p>

P284 指導計画作成の留意事項 (1)



	<p>3 グループで話し合った内容を、全体で交流する。</p>	<p>ヤムボードに入力させて追加させていく。</p> <p>T 各グループで話し合ったことを、クラス全体で共有していきましょう。</p> <p>※話し合いで利用した Google ジャムボードをスカイメニューの共有システムを活用して全体で共有する。</p> <p>C どの班も驚宮の視点で発表しているね。</p> <p>C どの災害が起きても、行動できるように伝えたい。</p> <p>T 他のグループの発表を聞いてみてどう思いますか。何か気付くことはありますか。</p> <p>C どの班も驚宮の人のためにという思いがこもっている。</p> <p>C どの災害が起きても町の人を守ることができるようにしたいという気持ちが伝わる。</p> <p>C 町の人が自分たちを守ってくれたように自分たちも町の人のために行動できるようにしたい。</p> <p>T 伝えたいことの背景にはどれも地域の人々の思いや自分の地域への思いがあるね。これからも、この思いを大切に防災について調べていきましょう。</p> <p>※地域への思いがあるからこそ、調べていく価値があるということに気付かせたい。</p>	<p><b>評価方法</b></p> <p>・Google ジャムボード・発言</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <p>◎自分が知っている知識と友だちの考えを比べて共通することを見つけている。</p> <p>○発表したものを見て自分の考えを伝えている。</p> <p>→自分の考えをもつのが難しい児童には、似ている意見はどれかを考えさせる。</p> <p><b>評価方法</b> 発言</p>
<p>振り 返り 10 分</p>	<p>4 本時の活動を振り返りカードに記入し、次時への見通しをもつ。</p>	<p>T 今日の学習の振り返りをしましょう。</p> <p>・Google フォームに身に付けたい力の自己評価を入力する。</p> <p>・本時の活動を通して考えたことや、今後の活動に生かせることなどを中心に書くように助言する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「地域の人に積極的に関わり活動している様子や災害と比較、関連付けてまとめようとしている。」という具体的な姿にとらえなおして評価する。また、振り返りの視点を与え、①学習内容②自分の考えの変容③自分の知識との関連付け）学びを捉え直しやすいように工夫する。</p> </div>	

#### (4) 板書計画



#### 10 研究授業及び協議の視点

- ① Google ジャムボードを活用した学びは、児童の探究型学習において有効であったか。
- ② 単元を貫く言語活動「地域への思い、命と町を守るとは」を問い続けて児童の学びの変容を追うことは効果的であったか。
- ③ 地域への参画が難しい中で、自分たちでできることとして、人や地域と関わるために Google フォームの活用やアンケートの活用の時間を設定したが、児童の探究的な深まりがあったか。
- ④ 児童に「探究力、創造力、表現力」の身に付けてほしい力を示して授業を展開することは有効であったか。